

授業科目名 (英訳)	公共財政論 Public Finance					担当者所属 職名・氏名	経営管理研究部 教授 小林 潔司 工学研究科 准教授 松島 格也				
配当学年	1・2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 前期	曜時間	月/4	授業形態	講義	使用言語	英語
〔授業の概要・目的〕											
中央政府あるいは地方自治体における予算とその執行に関わる公的財政の考え方について理解するために、マクロ経済モデル、産業連関分析、一般均衡モデルの概念を用いて一国経済の構造を説明する。具体的には、GDP と SNA（国民経済計算）の定義、産業連関分析と一般均衡分析、ケインジアンマクロ経済における IS-LM モデルや AD-AS モデル、国際経済モデル、経済成長モデルなどに関して、具体的事例をあげながら説明する。											
〔到達目標〕											
中央政府あるいは地方自治体における予算とその執行に関わる公的財政のあり方を理解する。											
〔授業計画と内容〕											
以下のような課題について、1 課題あたり 2、3 週の授業をする予定である。 GDP と SNA（三面等価の法則，経済統計，マクロ経済） 産業連関表と一般均衡モデル（産業連関分析、応用一般均衡モデル、政策評価） IS-LM モデル（財市場，貨幣市場） AD-AS モデル（総需要，総供給） 国際経済モデル（為替，経常収支，貿易収支） 経済成長モデル（AK モデル，内生的成長モデル） 最終講義において、全体のとりまとめと学習到達度の確認を行う。											
〔履修要件〕											
ミクロ経済学に関する予備知識があることが望ましい。											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
平常点（出席，レポート，クイズなど）3-4 割，最終試験 6-7 割。レポートは到達目標の達成度により評価する。講義時は毎回内容に関するミニレポートを課す。											
〔教科書〕											
指定なし											
〔参考書等〕											
中谷巖，入門マクロ経済学 第 5 版，日本評論社，2007。 Dornbusch et al., Macroeconomics 10th edition, Mcgrow-hill, 2008. Miller and Blair, Input-Output Analysis Foundations and Extensions second edition, CambridgeUniversity Press, 2009											
〔授業外学習（予習・復習）等〕											
毎回提出するレポートに関して復習し，参考書を用いて関連する範囲を予習することが望ましい。											
〔その他（オフィスアワー等）〕											
講義資料掲載 web ページのアドレスは初回講義時に紹介する。 matsushima.kakuya.7u@kyoto-u.ac.jp											